

# 網代漁港-3.5m耐震岸壁工事に於ける取合い部水中型枠の工夫について

静岡県土木施工管理技士会  
青木建設株式会社 工事部  
和 氣 秀 人

## 1. 摘要工種

平成19年度網代漁港-3.5m耐震岸壁工事に於いて既設岸壁の傾きにより、新設岸壁との取合いに800mm程度の際間が事前基準測定の結果により出来る事が分かりました。

其処で、発注者と事前協議を行い、取合い部を水中コンクリートで施工する事が決まりましたが、取合い部なので波浪によるうねりが集まり易く、潮流も早いので、施工性を考慮して、水中型枠を工夫して施工した。

## 2. 問題点

網代漁港は急な山裾に位置する港で、平坦部が少なく漁獲量の割合には岸壁等の施設が不足していて、近年、広域漁港整備事業により各種岸壁・物揚場等を整備していますが、新設岸壁終点に於いて長年の台風被害・地震等により既設岸壁が傾斜しているため、取合い部に隙間が生じ、水中コンクリートで隙間を埋める必要が発生した。

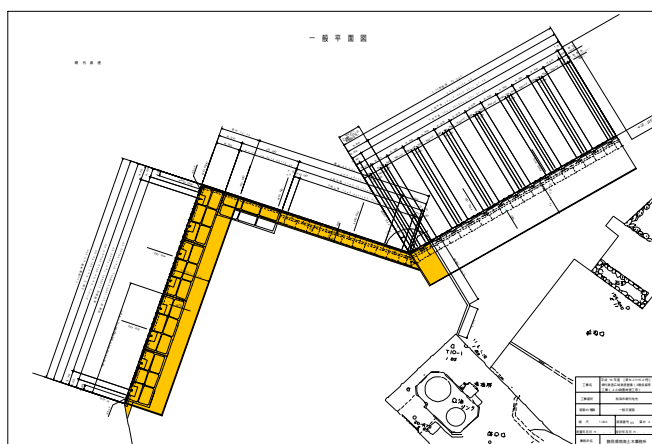


図-1 計画平面図

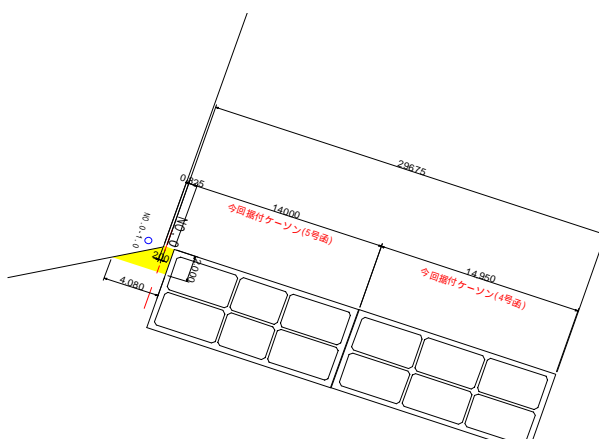


図-3 取合い部平面図

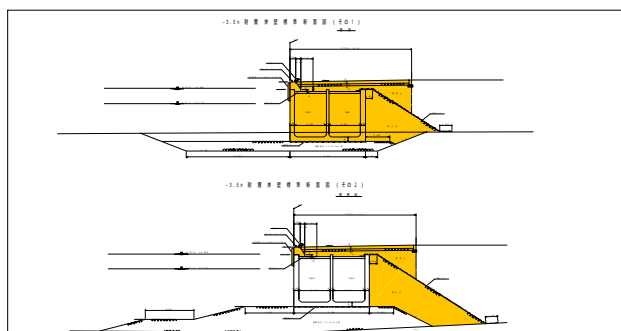


図-2 計画断面図

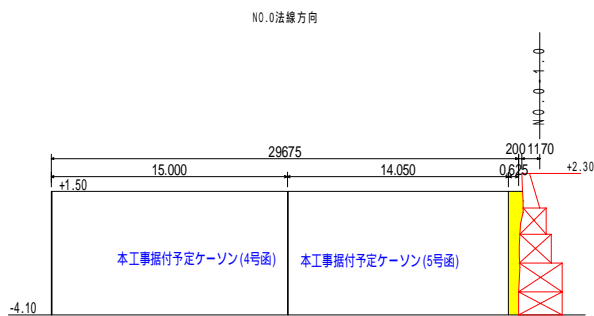


図-4 取合い部断面図

### 3. 工夫・改善点

水中型枠は先に(1.摘要工種参照)記載したように  
工事場所が既設岸壁との取合い部なので、うねりが  
有ると共に中流が早いので、鉄板と溝型鋼を用いて、  
型枠を製作し、水中型枠として工夫した。

水中型枠の固定は12mmのホークアンカーを既設岸壁に  
打込みターナバックスで締付るように工夫した。



写真-1 水中型製作状況



写真-2 水中型枠取付状況

### 4. 効果

写真1.2のように、鉄板と溝型鋼で製作・組立て、コン  
クリート打設を行った結果、既設岸壁との隙間は何  
の問題無く、コンクリート打設が出来た。

### 5. 採用時の問題点

#### (1) 施工条件

新設岸壁と既設岸壁との隙間は台形と  
成るので、新設ケーソン据付後、隙間の  
実寸法を計測して水中型枠製作を行う事。

施工場所が網代漁港荷揚岸壁に隣接して  
いるので、漁船入出港時に於ける波の影響を  
事前に把握し、作業時間帯の検討を行う事。

#### (2) 既設岸壁強度調査

昭和50年代に築造された岸壁なので、長年  
による塩害で、コンクリート強度が著しく低減してい  
るので、型枠固定用に使用するホークアンカーの  
引抜き強度の事前確認が必要。